

資料 3

令和6年度第2回 高砂市都市計画審議会

播磨臨海地域道路本線・JCT・IC（県決定）及び
アクセス道路・関連都市計画施設（県決定・市決定）の
都市計画素案の事前報告について

令和7年3月31日（月）
高砂市

1. 概要

2. これまでの経緯

3. 都市計画素案について

1.概要

◆ 播磨臨海地域を東西に結ぶ新たな高規格道路

当面、都市計画・環境影響評価を進める区間



1.概要 地域の課題 国道2号BPや南北道路等の渋滞

◆ 国道2号BPや国道250号、南北道路での慢性的な渋滞



国道2号バイパス渋滞状況
(中地ランプ付近)



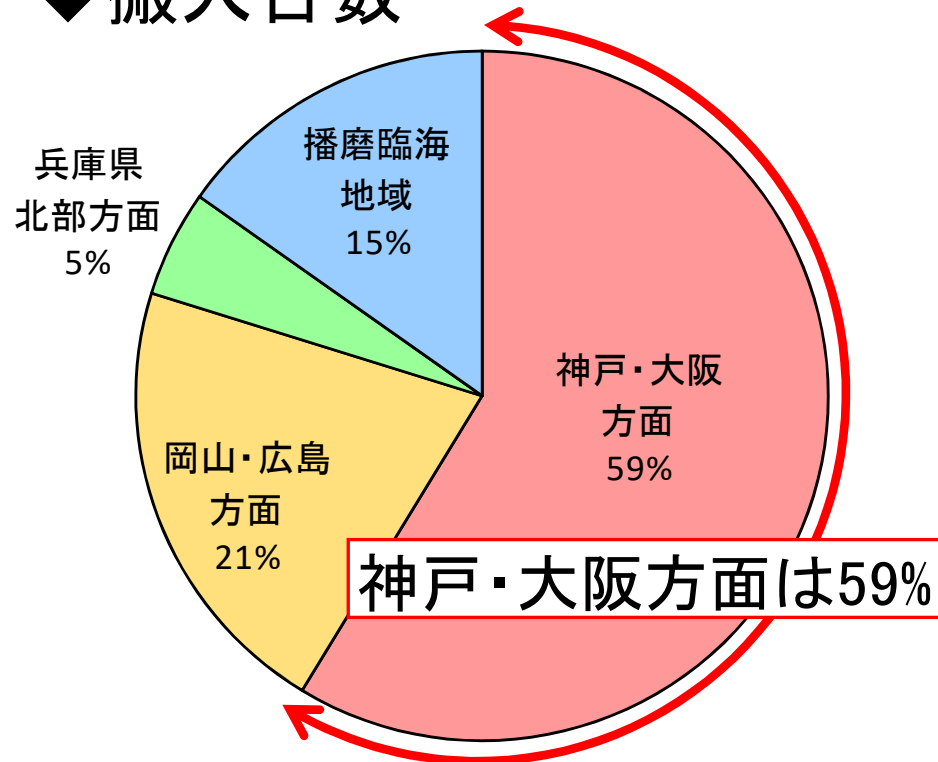
南北道路の渋滞状況
(国道2号BP加古川ランプ付近)

1.概要

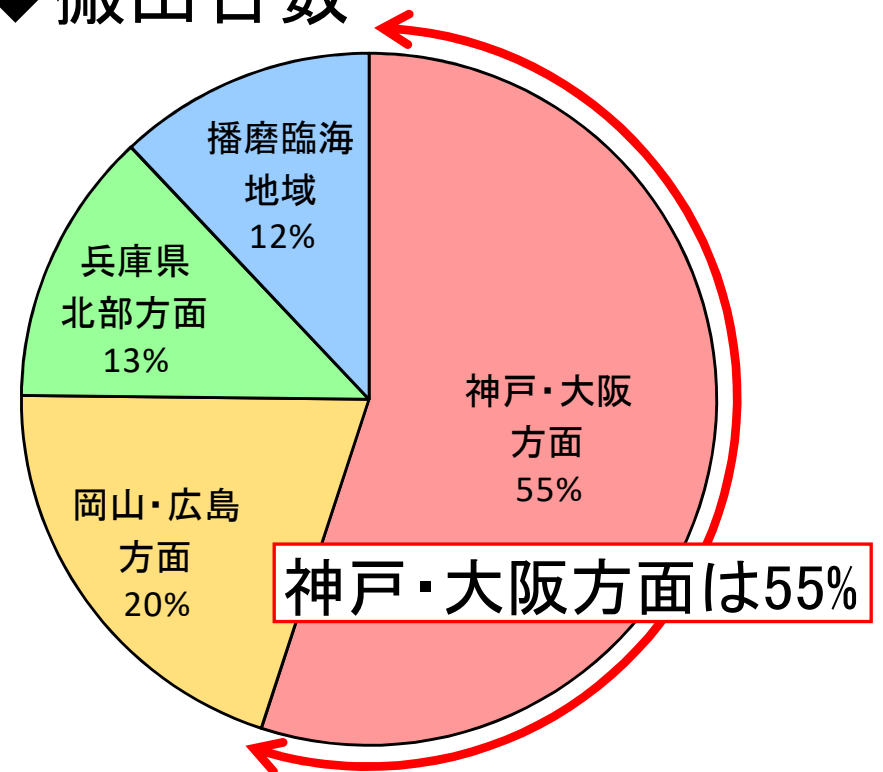
地域の課題① 慢性的な渋滞による経済活動への影響

<播磨臨海地域の産業交通の道路利用>

◆搬入台数



◆搬出台数



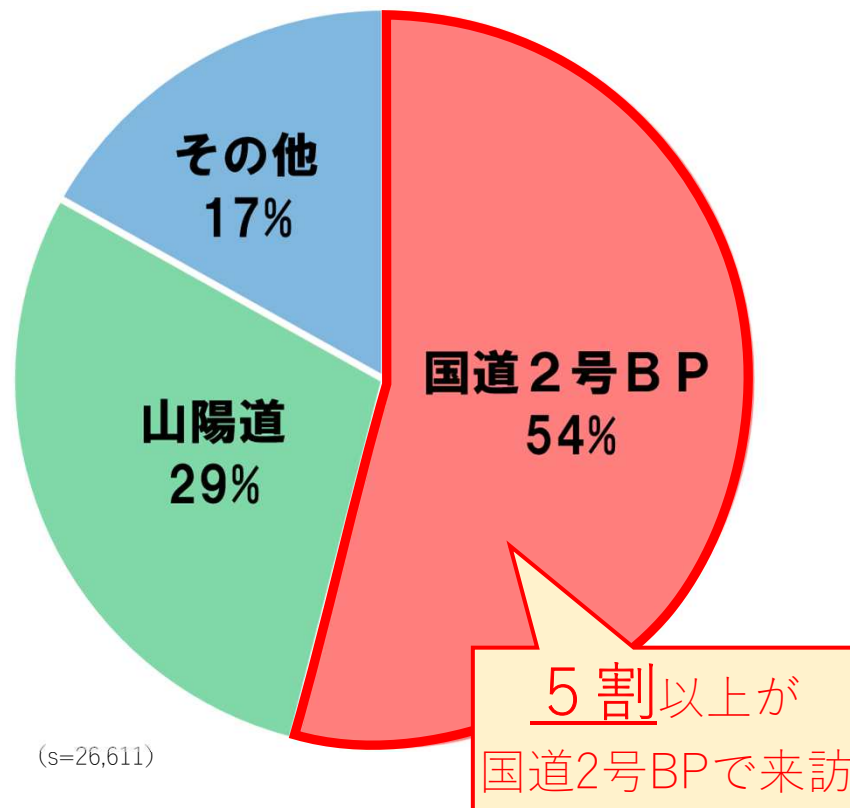
製品は、国道2号バイパス、明姫幹線を経由し神戸港へ

1.概要

地域の課題② 慢性的な渋滞による観光への影響

- ◆ 自動車利用の観光客の5割以上が国道2号BPを利用
- ◆ 渋滞により速達性や定時制が確保できない悪影響が発生

【姫路市への観光客の自動車の利用経路】



出典：令和4年度姫路市入込客数
観光動向調査アンケート調査結果

出典：ETC2.0プローブ情報（2021年9月～11月）

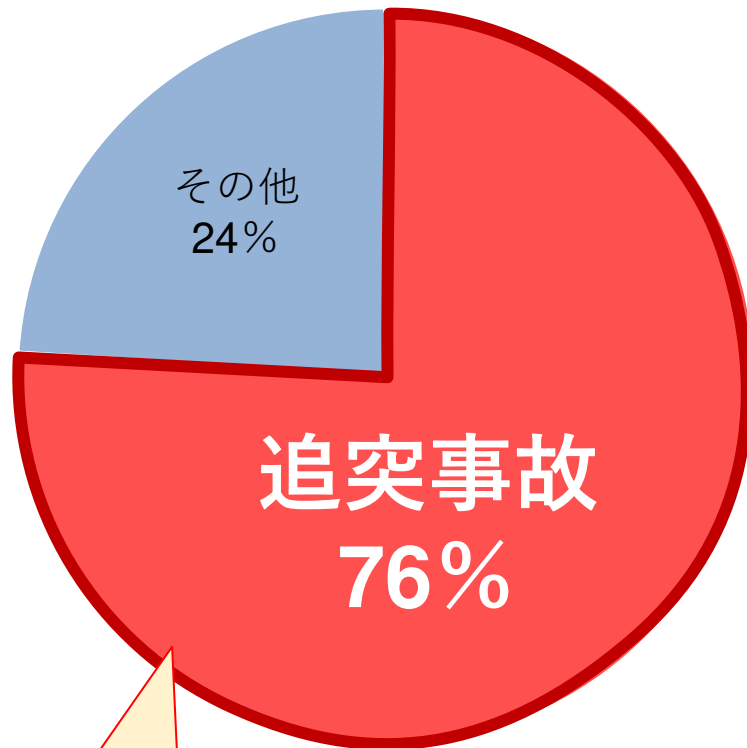


出典：姫路城 姫路市HP、書写山圓教寺 姫路フォトバンク

1.概要 地域の課題③ 多発する交通事故

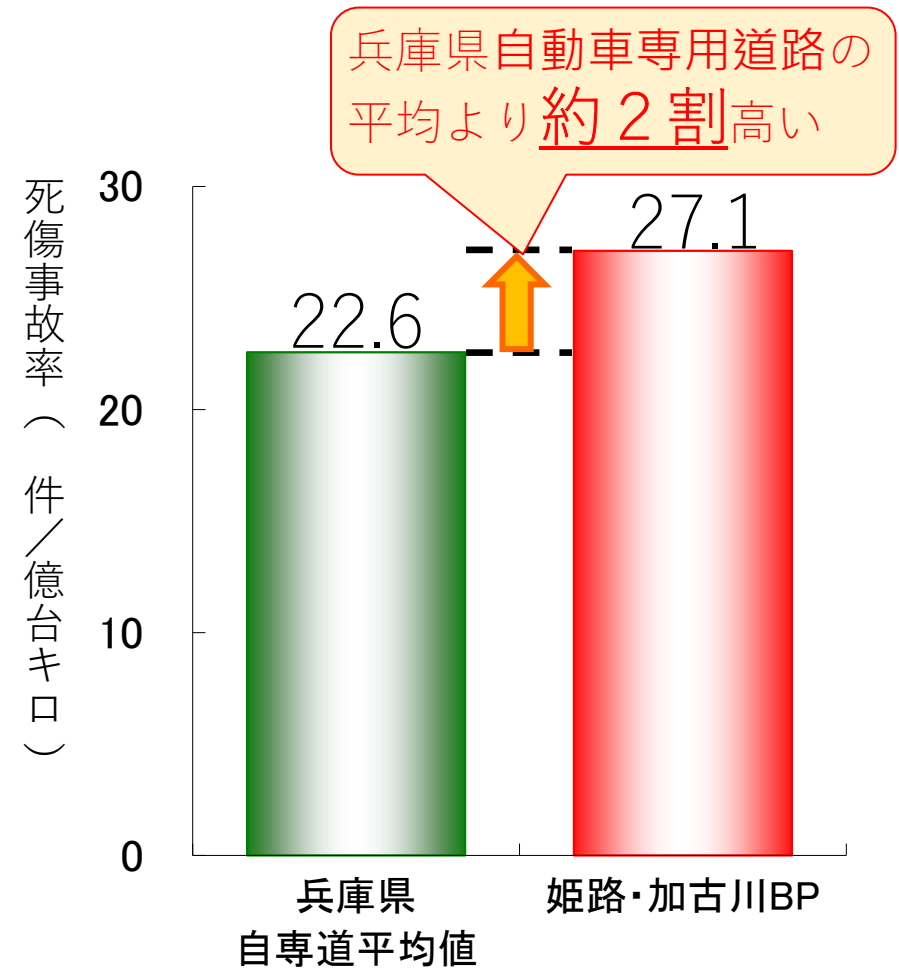
◆ 国道2号バイパスは、渋滞による速度低下が原因の一つと考えられる追突事故が約8割で、兵庫県自動車専用道路の平均より死傷事故率が高い

【姫路・加古川バイパスの交通事故の種類】



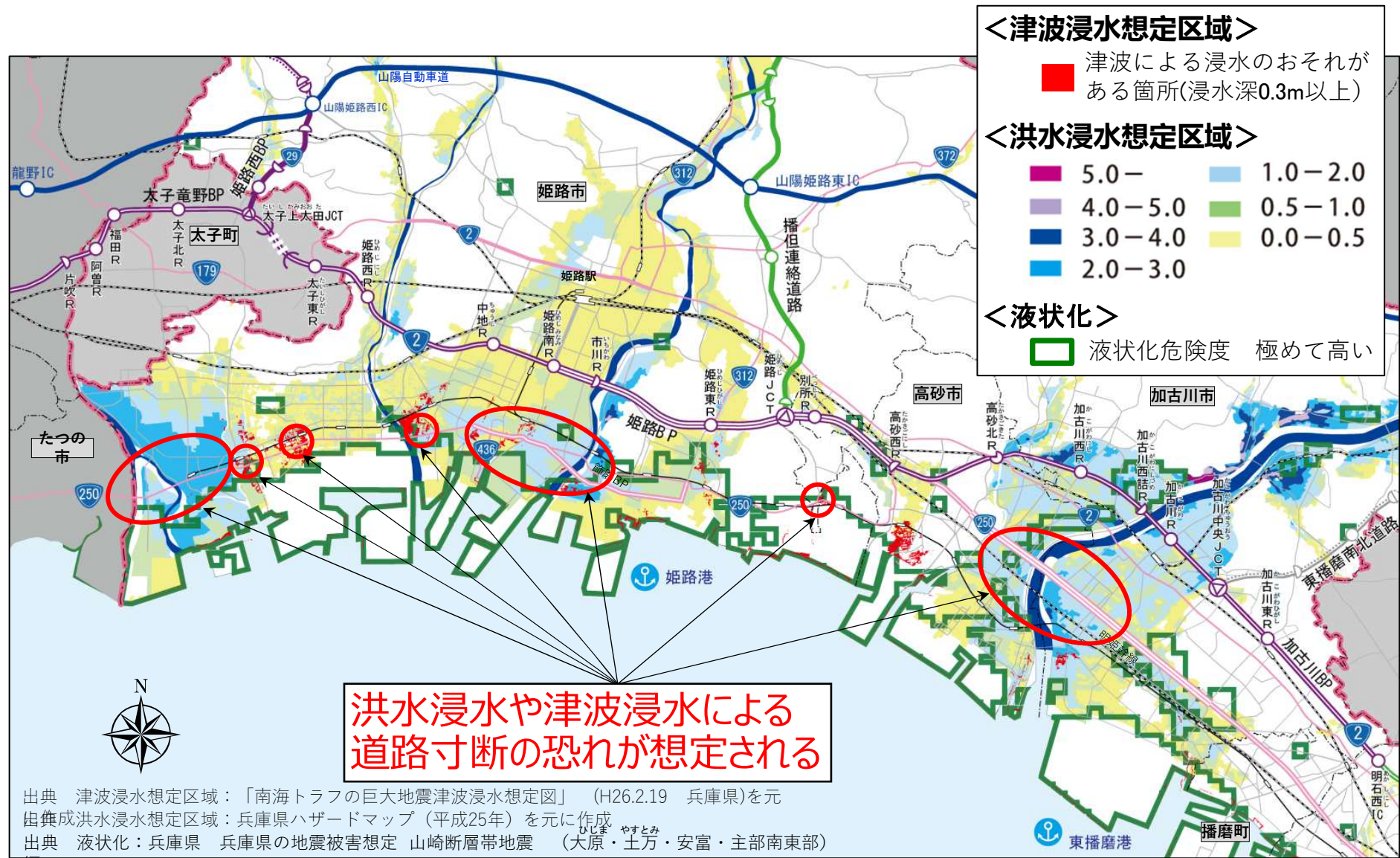
速度低下に起因する追突事故が約8割

【姫路・加古川バイパスの死傷事故率】



1.概要 地域の課題④ 災害リスク

◆ 洪水及び南海トラフ巨大地震による津波・液状化等に伴う通行止めが懸念



2.これまでの経緯

政策目標を実現するために、ルート帯案を複数案設定

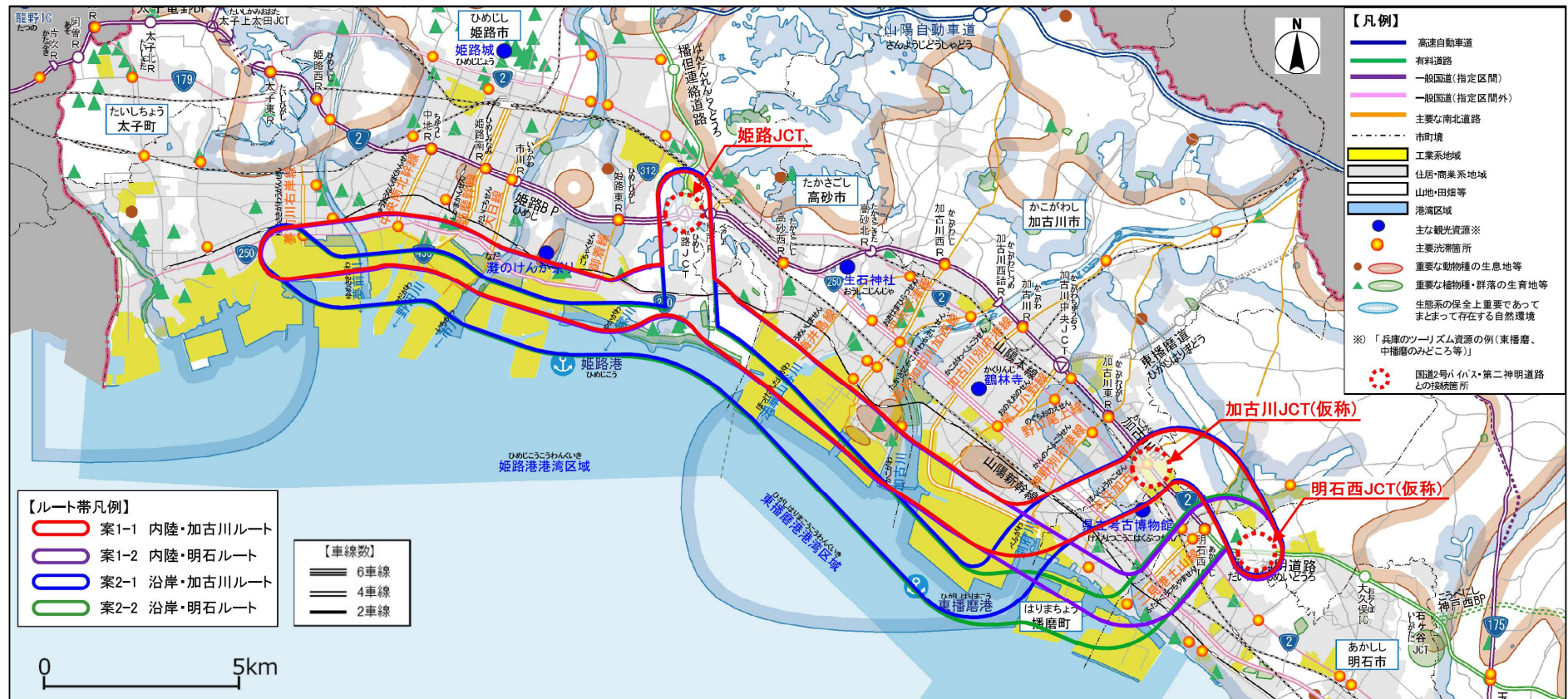
■ ルート帯案

【案1-1】内陸・加古川ルート … 加古川市の市街化調整区域及び住宅密集地と企業集積地の間の空間や公共空間を活用する案

【案1-2】内陸・明石ルート … 明石市の市街化調整区域及び住宅密集地と企業集積地の間の空間や公共空間を活用する案

【案2-1】沿岸・加古川ルート … 加古川市の市街化調整区域及び企業地内の空間や海上空間を活用する案

【案2-2】沿岸・明石ルート … 明石市の市街化調整区域及び企業地内の空間や海上空間を活用する案



2.これまでの経緯

令和7年3月31日／令和6年度第2回高砂市都市計画審議会

複数のルート帯案を比較・検討

		内陸ルート		沿岸ルート	
評価軸		案1-1 内陸・加古川ルート	案1-2 内陸・明石ルート	案2-1 沿岸・加古川ルート	案2-2 沿岸・明石ルート
ルート帯の概要		・住居系地域と工業系地域の間に導入空間の基本とする案	・住居系地域と工業系地域の間に導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案	・企業地内や海上空間を導入空間の基本とする案
製造業の活性化、投資促進	臨海部からの阪神方面への連絡時間の短縮	◎ バイパスまでのアクセス性が良く、阪神方面への連絡時間短縮が期待できる。	◎ バイパスまでのアクセス性が良く、阪神方面への連絡時間短縮が期待できる。	△ バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る。 《内陸ルートより約1.2km ^{*1} 海側を通過》	△ バイパスまでのアクセス性に劣るため、阪神方面への連絡時間短縮は内陸ルートに比べて劣る。 《内陸ルートより約1.2km ^{*1} 海側を通過》
	南北道路における生活交通との混在による渋滞の回避	◎ 臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路、特に明石西IC及び加古川東ランプ付近の渋滞緩和が期待できる。	△ 臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなり、南北道路の渋滞緩和が期待できるが、明石西IC及び加古川東ランプ付近の渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る。	◎ 臨海部からの移動において、主要渋滞箇所を通過しなくなるため、南北道路、特に明石西IC及び加古川東ランプ付近の渋滞緩和が期待できる。	△ 臨海部からの移動において主要渋滞箇所の通過がなくなり、南北道路の渋滞緩和が期待できるが、明石西IC及び加古川東ランプ付近の渋滞緩和については加古川ルートに比べて劣る。
政策目標	観光周遊の促進	◎ 産業交通の転換による国道2号BPの観光交通の速達性・定時性の向上が期待できる。	◎ 神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への速達性、定時性の向上が期待できる。	△ 神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への速達性、定時性の向上が期待できるが、内陸ルートに比べて劣る。	△ 神戸～姫路間の移動時間・距離が短縮され、姫路城等の観光地への速達性、定時性の向上が期待できるが、内陸ルートに比べて劣る。
	交通事故の削減	◎ 国道2号BPにおける渋滞解消による追突事故の削減が期待できる。	◎ 国道2号BPの渋滞緩和による追突事故の削減が期待できる。	△ 国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る。	△ 国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、交通事故の削減効果は内陸ルートに比べて劣る。
		◎ 南北道路の渋滞緩和による交通事故の削減が期待できる。	◎ 南北道路の渋滞緩和による交通事故の削減が期待できる。	△ 国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、南北道路の交通事故の削減への期待は内陸ルートに比べて劣る。	△ 国道2号BPから新しいルートへの交通転換が限定的であり、南北道路の交通事故の削減への期待は内陸ルートに比べて劣る。
	災害に強いまちづくり	◎ 別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ◎ 主に住居系地域に近い内陸部を通るため、災害時の避難・救助等に際しての活用効果が高い。	◎ 別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 ◎ 主に住居系地域に近い内陸部を通るため、災害時の避難・救助等に際しての活用効果が高い。	△ 別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 △ 主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての活用効果は内陸ルートに比べて劣る。	△ 別線整備とすることで災害時のリダンダンシーが確保できる。 △ 主に海上を通るため、災害時の避難・救助等に際しての活用効果は内陸ルートに比べて劣る。
配慮事項(その他)	生活環境への影響	△ 一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念される。	△ 一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念される。	○ 一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、内陸ルートに比べ影響する範囲は少ない。	◎ 一部集落・市街地を通過するため、大気、騒音等の生活環境への影響が懸念されるが、他案に比べ影響する範囲は少ない。
	自然環境への影響	◎ 自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	◎ 自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	◎ 自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。	◎ 自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への影響は小さい。
	支障となる家屋及び工場等	○ 家屋：約240棟 工場等：約240棟 ○ 公共空間・市街化調整区域通過割合：約6割	△ 家屋：約240棟 工場等：約330棟 ○ 公共空間・市街化調整区域通過割合：約5割	○ 家屋：約170棟 工場等：約120棟 ○ 公共空間・市街化調整区域通過割合：約6割	◎ 家屋：約60棟 工場等：約120棟 ○ 公共空間・市街化調整区域通過割合：約5割
コスト		◎ 約5,900億円	○ 約6,200億円	○ 約9,300億円	△ 約9,500億円

※1) 内陸ルート帯中央部から沿岸ルート帯中央部までの平均距離 ※2) 国道2号BPと臨海部をつなぐ南北道路の主要渋滞箇所

【凡例】 ◎：最も評価できる ○：評価できる △：他案Iに比べて劣る

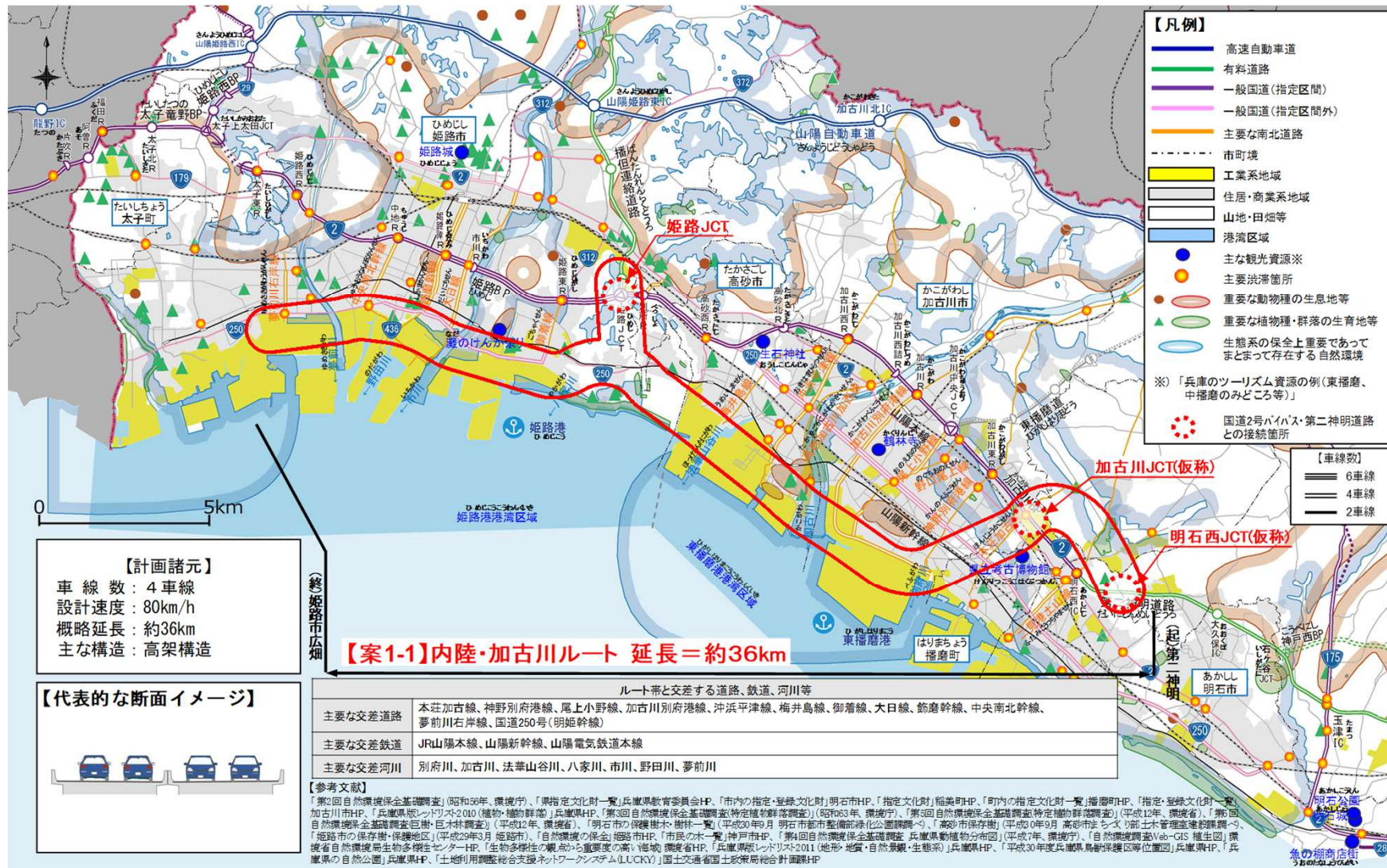
全ての意見聴取(住民等・事業所アンケート、オープンハウス、関係団体ヒアリング)の結果、重視する意見が多い項目

2.これまでの経緯

令和7年3月31日／令和6年度第2回高砂市都市計画審議会

高砂市 Takasago City

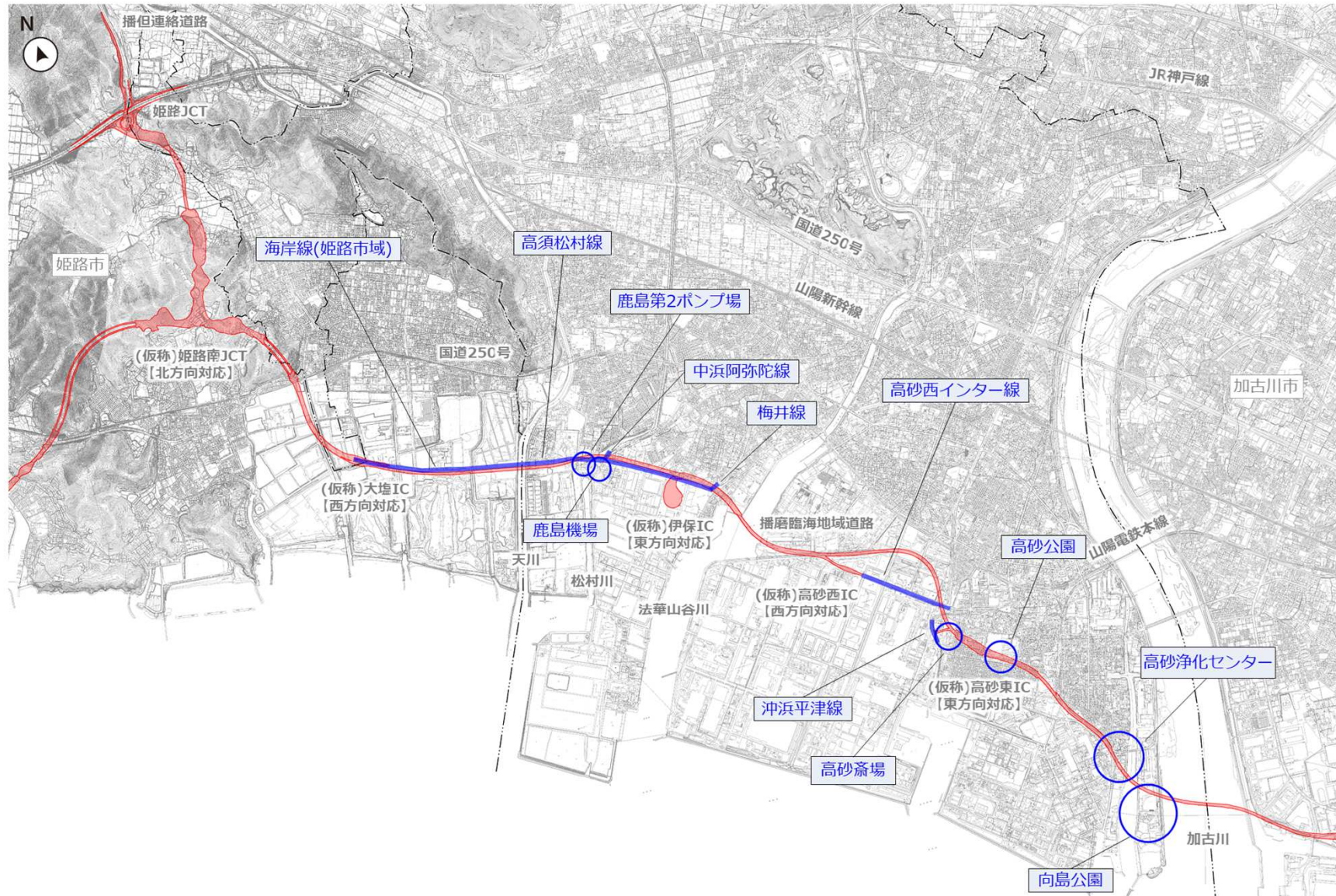
【案1-1】内陸・加古川ルートを選定



2.これまでの経緯

高砂市会場

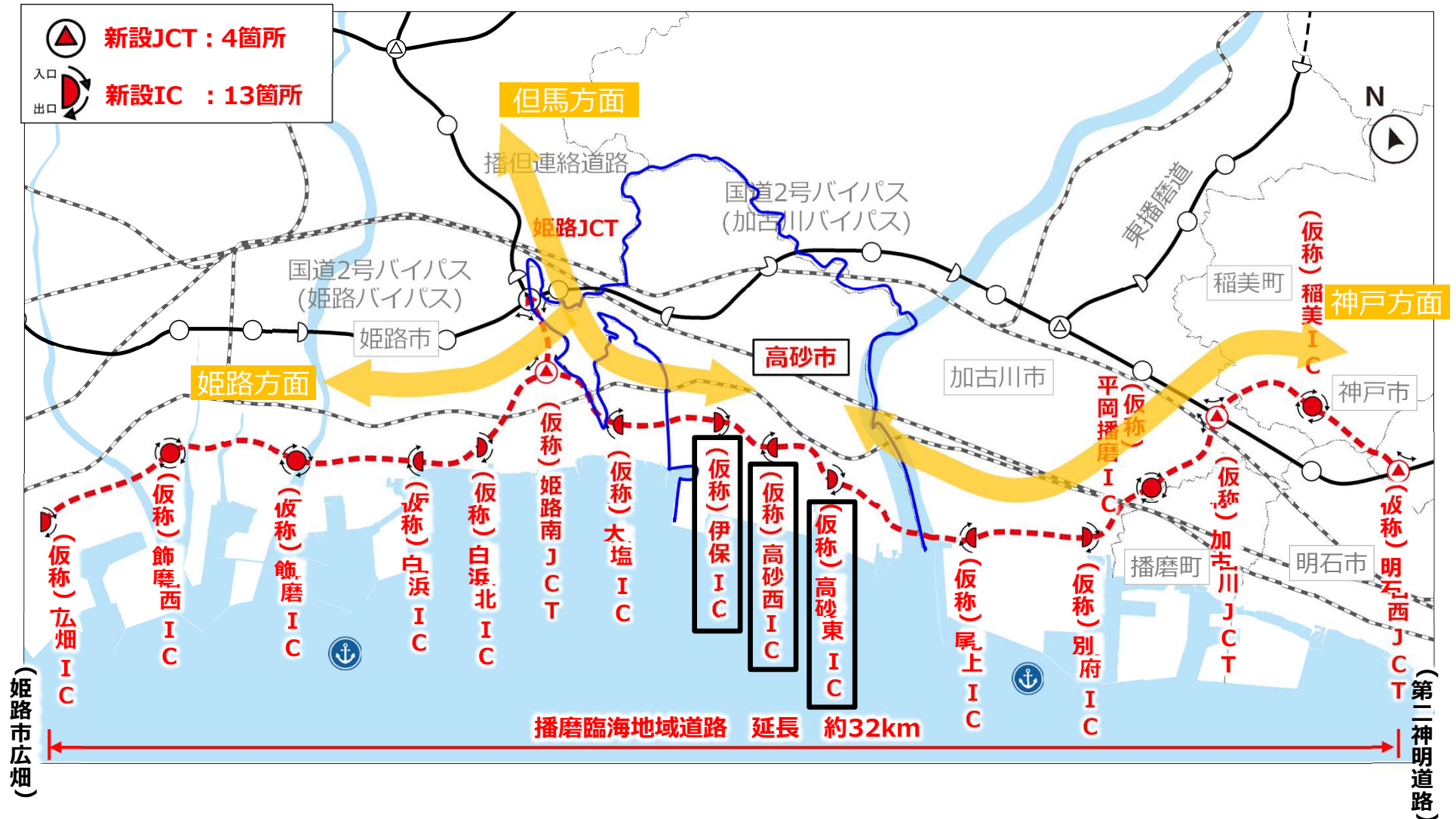
説明する都市計画施設 箇所図



※ 播磨臨海地域道路の計画は前回の説明会で提示した計画図をそのまま使用しています。

2.これまでの経緯

◆ 新設JCTを4箇所、新設ICを13箇所設置



2.これまでの経緯

道路計画の検討

【都市計画手続以前の手続】

優先区間絞り込み(H25～H28)

当面、都市計画・環境影響評価を進める区間「**第二神明道路から姫路市広畑**」を決定

ルート帯決定(H28～R2)

計画段階評価手続を踏まえて、概略ルートを「**内陸・加古川ルート**」に決定

ルート計画案手交(R4.11)

国から県・神戸市へ都市計画素案の基となるルート計画案手交

【都市計画手続】

都市計画に係る説明会

- R5.11 : 播磨臨海地域道路のルートや本線の構造を説明
- R6.8～9 : アクセス道路・関連都市計画施設を説明

環境影響評価手続

配慮書公表(R2.8～9)

方法書の公告・縦覧(R3.7)

方法書の説明会

環境影響評価の実施 (調査・予測・評価)

準備書の作成

2.これまでの経緯

都市計画手続

都市計画に係る説明会

- R5.11 : 播磨臨海地域道路のルートや
本線の構造を説明
R6.8～9 : アクセス道路・関連都市計画
施設を説明

個別説明会

R7.1～R7.3

都市計画審議会

R7.3.31

公聴会

意見聴取

都市計画案の作成

都市計画案

公告・縦覧・意見書の受付

【都市計画審議会】都市計画案・評価書の付議

都市計画決定の告示・縦覧

環境影響評価手続

環境影響評価の実施
(調査・予測・評価)

準備書の作成

準備書の公告・縦覧

準備書の説明会

評価書の作成

評価書の公告・縦覧

2.これまでの経緯

◆ 住民説明会【本線（県決定）】の開催結果

開催日時	会場	定員	参加人数
令和5年11月16日（木） 19：00～20：30	北浜公民館	100名	47名
令和5年11月20日（月） 19：00～20：40	ユーアイ帆っとセンター	100名	185名
令和5年11月22日（水） 19：00～20：00	曽根公民館	100名	35名
令和5年11月27日（月） 19：00～20：30	中央公民館兼伊保公民館	150名	53名
令和5年11月29日（水） 19：00～20：35	高砂市役所南庁舎	150名	77名

計 397名



会場の様子（令和5年11月20日）



会場の様子（令和5年11月29日）

2.これまでの経緯

◆ 住民説明会【関連都市計画施設（県決定・市決定）】の開催結果

開催日時	会場	定員	参加人数
令和6年8月26日（月） 19：00～20：45	北浜地域交流センター	100名	22名
令和6年8月27日（火） 19：00～20：40	ユーアイ帆っとセンター	100名	120名
令和6年8月29日（木） 19：00～20：30	曽根地域交流センター	90名	46名
令和6年9月7日（土） 15：00～16：50	高砂市役所南庁舎	150名	45名
令和6年9月10日（火） 19：00～20：45	高砂地域交流センター	100名	69名

計 302名



会場の様子（令和6年8月27日）



会場の様子（令和6年9月10日）

2.これまでの経緯

◆ 個別説明会及び相談会の開催結果（1/2）

開催日時	対象地区	会場	参加人数
令和7年1月27日（月） 15：00～16：00	企業（臨海部）	高砂市役所	11名
令和7年1月27日（月） 19：00～20：00	北浜町西浜	堂池ふれあいの郷	8名
令和7年1月28日（火） 19：00～20：30	大工町、釣船町、 狩網町、南渡海町	高砂地域交流センター	29名
令和7年1月30日（木） 15：00～16：00	企業（梅井・高須）	高砂市役所	12名
令和7年2月2日（日） 13：00～14：00 15：00～16：30 17：00～18：00	梅井	梅井自治会館	49名
令和7年2月3日（月） 19：00～20：30	西畑3丁目、西畑4丁目、 高砂パインビレッジ、 県営高砂鉄筋団地	ユーアイ帆っとセンター	64名
令和7年2月4日（火） 19：00～20：30	東宮町、戎町	高砂地域交流センター	32名
令和7年2月5日（水） 19：00～20：00	高須	高須自治会館	18名

2.これまでの経緯

◆ 個別説明会及び相談会の開催結果 (2/2)

開催日時	対象地区	会場	参加人数
令和7年2月6日(木) 19:00～20:45	高砂小学校育友会、 高砂中学校PTA	ユーアイ帆っとセンター	23名
令和7年2月12日(水) 19:00～20:15	西畑2丁目、カネカ社宅	ユーアイ帆っとセンター	22名
令和7年2月13日(木) 19:00～22:00	西畑1丁目	ユーアイ帆っとセンター	40名
令和7年2月17日(月) 19:00～20:00	曽根西之町、 曽根南之町	曽根地域交流センター	34名
令和7年3月4日(火) 15:00～17:15	西畑1丁目	西畑1丁目自治会館	21名
令和7年3月12日(水) 19:00～20:15	鍵町	鍵町自治会館	14名

計 377名



会場の様子 (令和7年2月3日)



会場の様子 (令和7年2月4日)